

コースマーシャル・アシスタントコースマーシャル

1. コースマーシャル（1名）とアシスタントコースマーシャル（1名以上）は、スタッフ用コース図で受け持ちエリアを確認して配置につきます。
2. コースマーシャルは、まず初めに、新しい記録用紙の上の部分に「1 H / 2 H」「受け持ちエリア」「自分にとっての何枚目か」「自分の氏名」を記入します。記録が20件を超えて2枚目に移る時も同様にします。
3. コースマーシャルは、選手が受け持ちエリアに入るまでに記録用紙にゼッケンを「C1 21」などと記入し、選手が受け持ちエリアを出るタイミングでペナルティ等を記入します。
4. コースマーシャルは各種の判定をします。判定基準は以下の通り

	内容	判定
1	パイロンに接触したようにも見たが、パイロンはピクリとも動かなかった。	不問 パイロンの確認と直しは行います
2	パイロンに接触したが、パイロンは倒れず、なおかつ路面のマークと重なった状態で留まった。	不問（独自ルール） パイロンの確認と直しは行います
3	接触によりパイロンが倒れた。または路面のマークと一切重ならない所まで動いた。	1秒 / 1回
4	足つき（足つき可とした場所およびステップに足が載ったままの接地を除く）	不問（独自ルール）
5	コース逸脱、芝生エリアへの進入、サイドライン割り	3秒 / 1回
6	転倒の結果として上記が起きた	不問
7	ゴールエリア不停止または逸脱	3秒 / 1回
8	ミスコース	失格
9	選手自身がリタイアの意思を示した	失格
10	次の選手に追いつかれた	失格 次の選手は再出走

5. アシスタントコースマーシャルは、判定についての助言やパイロン直しの手伝いなどを行います。
6. リタイアが出たなど、出走を止めるべきだと判断した場合には、本部テントのMC兼スターターに向かって大きく手を振ってアピールしてください。自分たちの仕事が忙し過ぎて無理だから出走間隔を広げてほしい、などの要望がある場合も同様に一度出走を止めてMC兼スターターと話し合ってください。
7. コースマーシャルとアシスタントコースマーシャルは、選手がエリア内にいる間はできるだけ、こぶしを挙げてペナ数を指でカウントすることで、しっかり見ていることを周囲にアピールしてください。走行不能になった選手のサポート、後続者の制止、コースの清掃なども行ってください。
8. 受け持ちの時間が終わったら、記録用紙の内容のうちペナルティがあった分をスマホで集計システムに登録し、記録用紙を本部テントへ提出して終了です。
9. 判定へのクレームは受け付けないのが原則ですが、それでも批判されてつらい思いをすることもあるかもしれません。誰かがマーシャルを務めない限り大会は成立しませんので、気持ちを強く持って頑張ってください。

以上

MC 兼スターター、記録係

1. MC 兼スターターと記録係は、本部テントにて行います。
2. 記録係は、まず初めに、新しい記録用紙の上の部分に「1 H / 2 H」「自分にとっての何枚目か」「自分の氏名」を記入します。記録が20件を超えて2枚目に移る時も同様にします。
3. MC 兼スターターは、選手が正しいスタート位置に付くように指導します。選手がスタート位置についたら、「C1 21 番」などとゼッケンをマイクを使って口頭で記録係に伝えます。記録係はそれを記録用紙に記入します。
4. MC 兼スターターは、選手にスタートのキューを出してください。(キューを出された選手がスタートするまでの時間については厳密な制限は設けませんが、速やかにスタートするものとします)
5. MC 兼スターターは、選手がゴールしたらマイクでタイムを読み上げ、記録係が記録用紙にタイムを記入します。
6. MC 兼スターターは可能な限りコース全体に注意を払います。特にコースマーシャルからの出走中止のアピールを見逃さないようにします。
7. MC 兼スターターと記録係は、選手から再出走の訴えがあった場合には適宜対応します。基本的には出走前8の字の入り口からやり直しです。コースマーシャルから特段のアピールが無いのに、選手が再出走を求めた場合には、出走を止めて、コースマーシャルと協議した上で、MC 兼スターターが可否を決めます。
8. 受け持ちの時間が終わったら、MC 兼スターターが記録用紙の内容を読み上げて、それを記録係がスマホで集計システムに登録し、記録用紙を保管して終了です。
9. MC 兼スターターと記録係は、責任重大ですが、誰かが係を務めない限り大会は成立しませんので、気持ちを強く持って頑張ってください。必要に応じて役員がサポートします。

以上

誘導係

1. 誘導係は、出走前の8の字の入口に立って、次にコースインすべき選手のゼッケンを掲示します。
KSR 大会で使う車輛ゼッケンは遠くからは判別しにくく、ウォームアップしている選手から進行状況がわかりにくい、という問題を補う役割です
2. 再出走の選手が来たら、出走前8の字の入口に割り込ませます。
本部が再出走を認めたのかどうかを確認する連絡手段は無いので選手を信用します。
(どちらにせよ、MC 兼スターターのところで判断できる)

以上

スマホ入力型の集計システム

1. タイムやペナルティをスマホから入力すると、大会としての集計が自動でできるシステムです。
2. 入力画面はここからアクセスします。(グーグルフォーム)



3. ヒートは、「1」か「2」を入力します。必須です。全角でも半角でも大丈夫です。
4. ゼッケンは、3ケタの数字で入力します。クラス分けは1 0 0の位で表現します。必須です。
A:100、B:200、C1:300、C2:400、N:500
たとえばAクラスの1番は「1 0 1」、C2クラスの2 0番は「4 2 0」です。
全角でも半角でもその混合でも大丈夫です。
5. タイムは、本部テントの記録係が入力します。コースマーシャルは空欄のままスルーします。
1000分の1秒を1の位として6ケタ以内の数字で入力します。非必須。
たとえば54秒321の場合は「5 4 3 2 1」、2分10秒500の場合は「2 1 0 5 0 0」です。
全角でも半角でもその混合でも大丈夫です。
入力ミスのまま送信してしまった場合には、再び入力して送信すれば上書きできます。
何も入力しなかった場合には前回値が温存されます。
「0」を送信すれば入力済みのタイムを削除できます。
6. ペナは、コースマーシャルが入力します。本部テントの記録係は空欄のままスルーします。
整数で入力します。非必須。
リタイヤの場合は100以上の数字を入れます。
全角でも半角でもその混合でも大丈夫です。
入れた数字と前回値が加算されます。
何も入力しなかった場合には前回値が温存されます。
「0」を送信すれば入力済みのペナやリタイヤを削除できます。
7. 集計結果はここから見るができます。集計の実行は役員が適宜行います。
(スプレッドシートのWEB表示)



以上

スマホ入力型の集計システム（管理）

1. システムの本体となるスプレッドシートはこちらです。
大会当日までに「名簿」タブに、氏名、車輜、SB かどうか、を入力しておきます。



2. 管理機能用の入力画面はこちらです。集計指示と名簿の訂正が行えます。（グーグルフォーム）



「集計起点」に日時を入力すると、それ以降の入力で集計処理が実行されます。
つまり、大会当日の朝を指定することで本番データだけを集計できます。
この入力をしない場合は集計が更新されません。この処理は役員が実行します。

「ゼッケン」を入力して、「氏名」「車輜」「SB かどうか」を更新できます。

3. システムが使えないときの手集計の手順
 - ①再出走した選手の前の記録を横棒で消します。
 - ②コースマーシャル記録用紙からタイム記録用紙の備考欄へペナを転記します。
 - ③エントリーリストからタイム記録用紙の備考欄に SB である旨を転記します。
 - ④A から N および SB のクラス別に 1 位から 3 位を特定して、備考欄に追記します。
具体的にはベストタイムを特定して、同じ秒の選手がいないか確認し、
いたら順位を確認し、いなければその次の秒を探す、という手順です。
SB がやや大変ですが、3 位までなら何とか手集計でも対応できると思います。

以上